



JJK
FANBOOK

TANGETSU
KUCHIRUMADE

朽木

書

成人向

CANARY present
{ fushiguro x sukuna }

Until the moon dies.

注意

- ※宿儻の死の表現
- ※流血表現
- ※成人向け

以上諸々を含みます


- ・設定無視の捏造まみれご都合主義のフィクションです
- ・みんなどうにか生き残っている世界
- ・伏と宿儻は別の誰かと関係持ったりはしてないです

実在する人物、団体様とは一切関係ございません


転載、転売、(フリマサイト、オークション等)

ネットへのアップロード等厳禁

DON'T REPOST AND REPRINT MY ARTWORK




両面宿儺は
一度死んだ




虎杖から
分離した宿儺は

呪術師たちの
力で

遂に
力尽きようと
していた



俺はそれを、
側で見っていた



ゆっくりと、
瞳に映る月が

消えていくのを



おつ...

虎杖は無事だったものの
半月の間
眠ったままだった

津美紀は
救い出され

虎杖……!

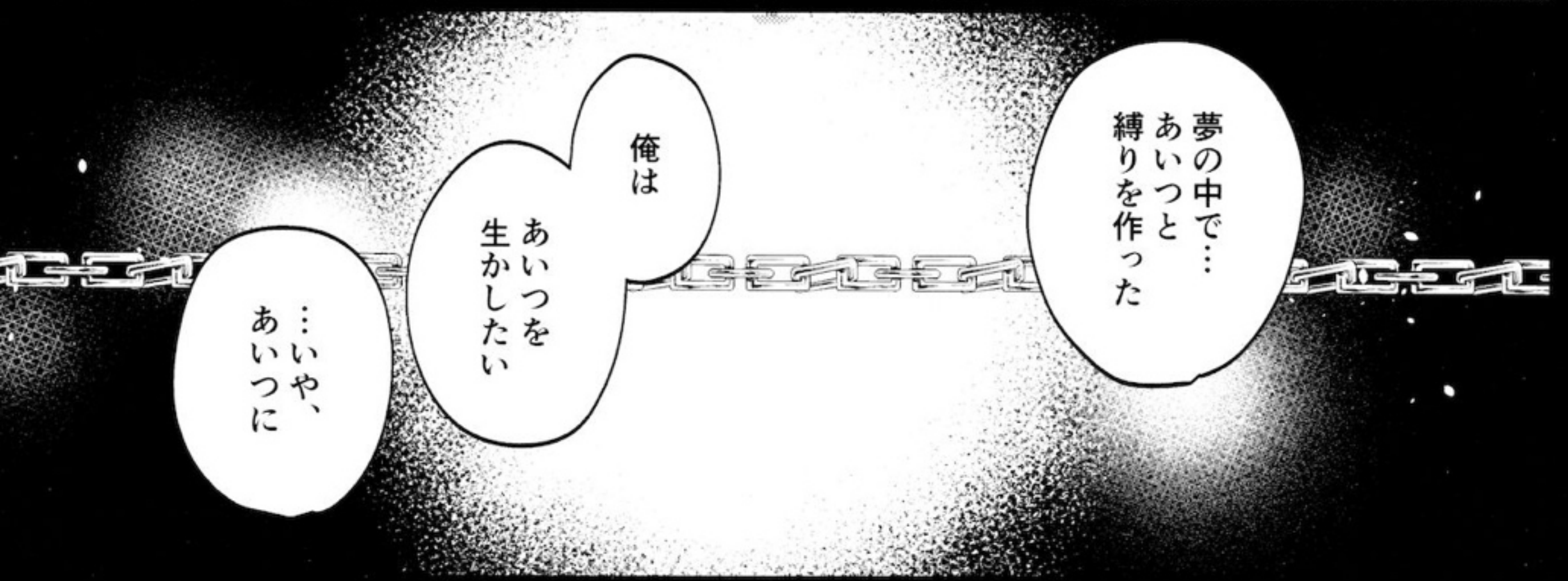
虎杖くん!



よかった……!

体、どうだ
起きれるか

……みんなに
お願いがあるん
だけどさ



夢の中で……
あいつと
縛りを作った

俺は

あいつを
生かしたい

……いや、
あいつに



ちゃんとした
死を与えたい

そーゆー
ワケでさ、
恵





生かすも
殺すも

最終的に

—全く
愚かだな

恵の
好きに
するといひよ

俺を
再び
起こすとは

潭月、朽ちる迄

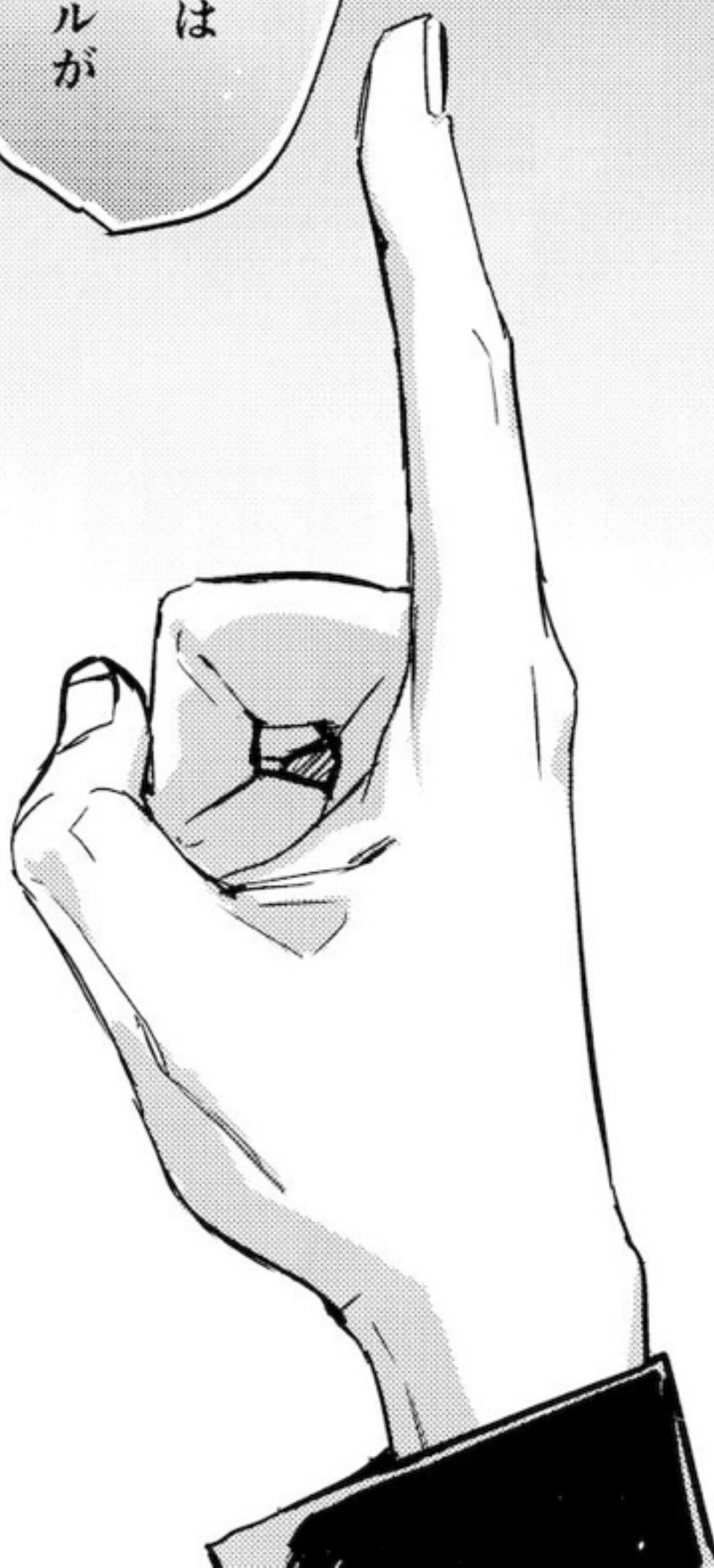
宿儺は
高専敷地内でしか
実体化できない
縛りだ

無理に実態化すると
その際の呪力は
宿儺自身に跳ね返る

何か大きな損害を
出せるほどの力は
今の宿儺にはない
けどね

それと
今の宿儺には
呪力量の
コントロールが
必要で

方法は
いくつか
あるんだけど…







…瞑れって



手動で呪力を補う…？

今の宿儺は他の式神と違って擬似的に呪力を流し込んで生かしてる

食事と同じで定期的に与えないと死んじゃうわけ

呪骸みたいなものだけど前例もないしその辺は恵が勉強してよ



呪力は汗や涙や血液…あー体液全般に流れてるわけだけど

血を与えるのはいやでしょ死んじゃうし

早く言えば粘膜を介して体液を与える

粘膜…？
って、



はあ…!?

いくら何でもんな無茶苦茶な話、

まほは 救助訓練でやる人工呼吸と同じだよ

できるだろ？



何か都合悪いことでもある？

都合なんか

は…

ん…

悪いに
決まってんだろ…
こんなやつに！

は

今日も
これだけか

絶対
面白がってるだろ
あの人…

うるせえな

餓死しねえだけ
ありがたいと
思えよ

フン

まあ量より
質か

どういう意味だ
それ…

まるで
雑鳥か
赤子にでも
なった気分だ

ここまでして
俺に嫌がらせが
したいか
小僧め

はッ



だから何なんだよそれ

こいつにとってそんなに禅院の血に価値があるのか？



お前でなければ

呪力がなくとも殺しているところだがな



トビッ
光栄に思えよ？

気色の悪いこと言うな

少しでも呪力節約しろ

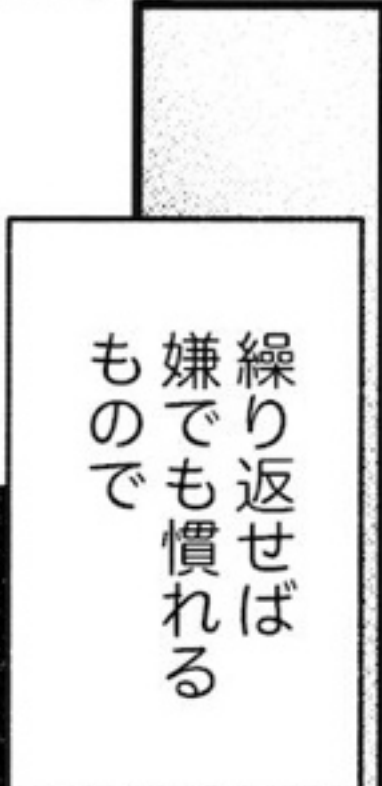


そんな風に

毎日、夜に補給をして

こいつの意味のない会話に付き合っ

たまたま五条先生にそれを報告するのはすごく嫌だったが



繰り返せば嫌でも慣れるもので



…呪いの王、か

コイツが虎杖に
取り憑いていた頃
憎くて恐ろしい
反面、時折

コイツの言葉が
妙に心をざわつかせた

全てを
見透かされている
ようなその言葉に
命を救われたこと
さえあった

…それは
俺を死なせずに
利用するためだと
思っていた

でも
あの時

すでに
利用価値のなかった
俺のことは
殺さなかった

理由なんて
考えるな



作業を
終わらせろ





勝手に、
目開けんな



…うるせえ



良いな

昔
小僧の中から
よく見た顔だ

年相応の
可愛げがある

カッ



……
勝手にしろ



影の中は
退屈だ

今夜このまま

此処で
眠りたい



俺が
ここにいる間は

監視してて
やる



……ああ

恩に着る

そいつは
呪いの王
はずだった

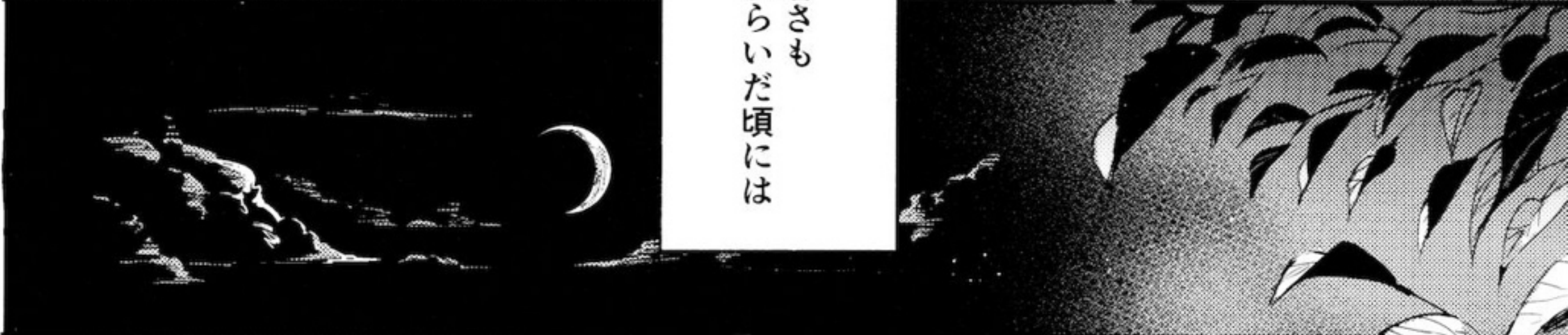


長い雨が
続いて

桜が散って



暑さも
和らいだ頃には

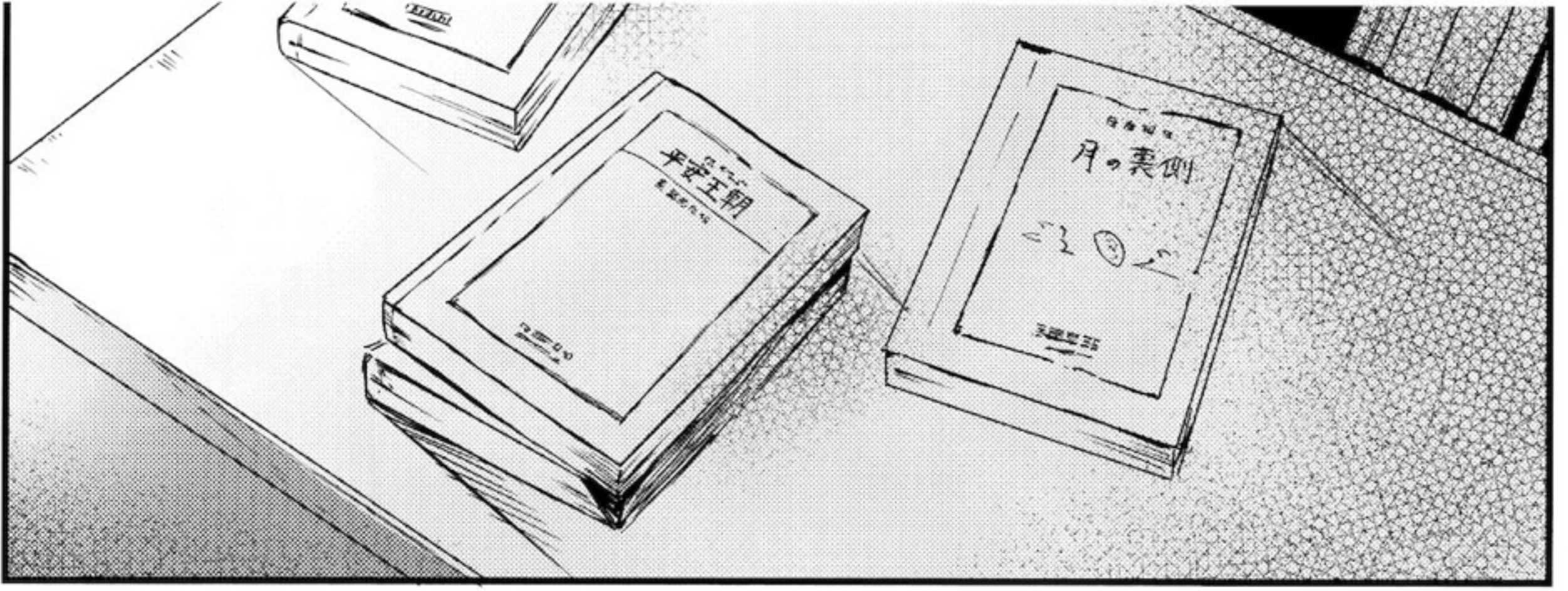


うう、

は…

ん、

「理由」なんて、
もう



コイツが
生きていた
頃には

月明かりは
どんな色を
していたのだろう



おっ
どーしたの
もたついでた
ジャン

……
うるせえな
ほやけ

久々一緒の
任務なのに
つめてーなあ

もう
何ともないのか

全然
だいじよぶ

…伏黒こそ、
あいつの面倒…

何かされたり
してねえ？



…
宿儻





だから
もー一回
生きて

俺の心臓
少しだけ
やる

そんで：
フツーに
死んでくれ

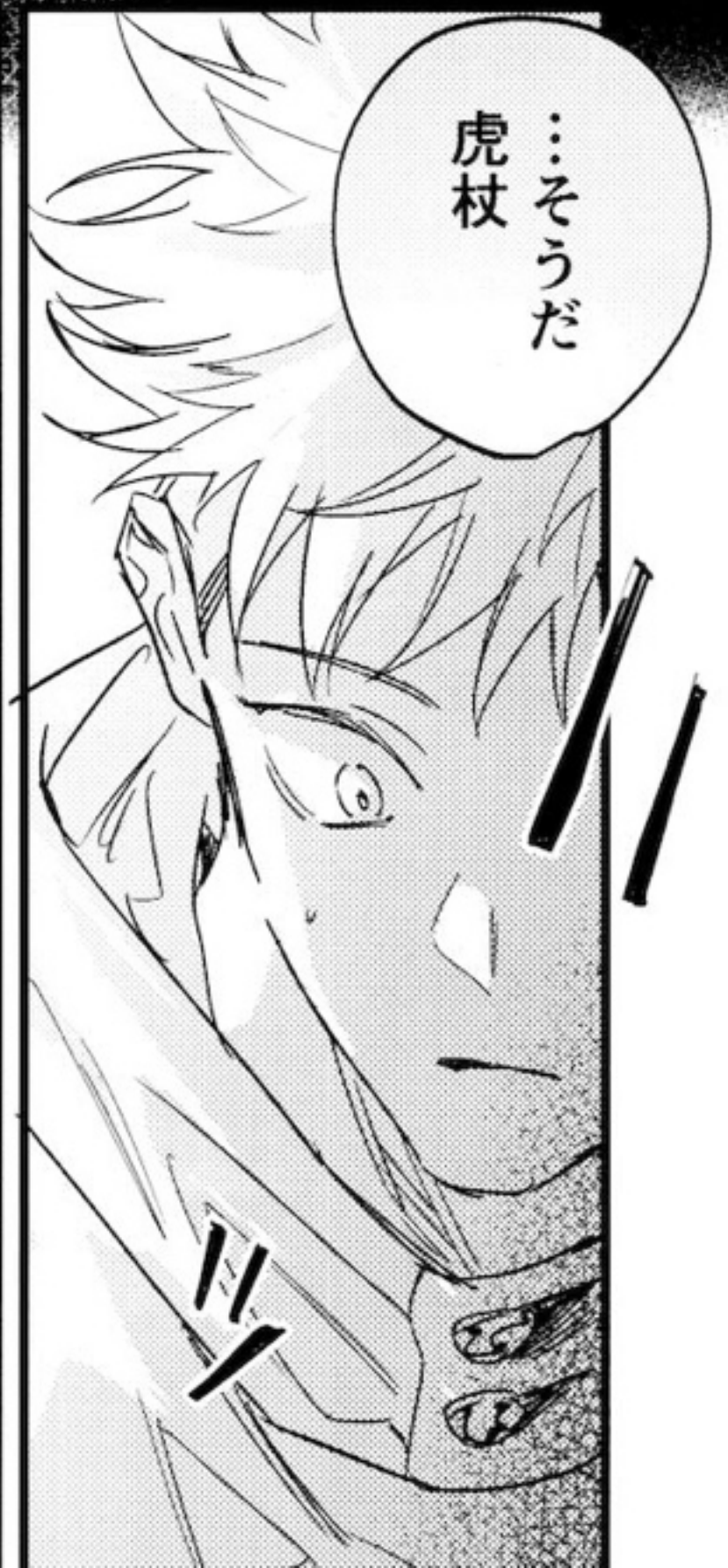
オマエが
生まれ変わって

いつか：
フツーに
生きれるように



小僧の
くせに

気色が
悪いわ：



…そうだ
虎杖

アイツと何か：
話したいときは
言えよ

俺が
見とくから

…俺の言うことは
多分聞く

伏黒
やさしい

うっせえ

いつか
そんな時が
来て欲しいと
思うのは

俺のエゴ
なのかも
しれないけど

オカエリ。

ギ

ニ

ニ

やっぱり
影に閉じ込めるか
……？

グ

…何の真似だ
勝手に
出てくんな

まだ
夜じゃねえぞ

…影の中に
いねえと思ったら
部屋で待ってたのか



いちいち
聞くなと
言っただろう
気を利かせて
いる

何してんだって
聞いてんだよ
……
いややっぱ
聞きたく
ねえ

任務後はいつも
昂っているくせに
発散させる
素振りもない
なぜ女を
作らない？

男色でも
なかりうに

：黙れ
余計な
お世話だ



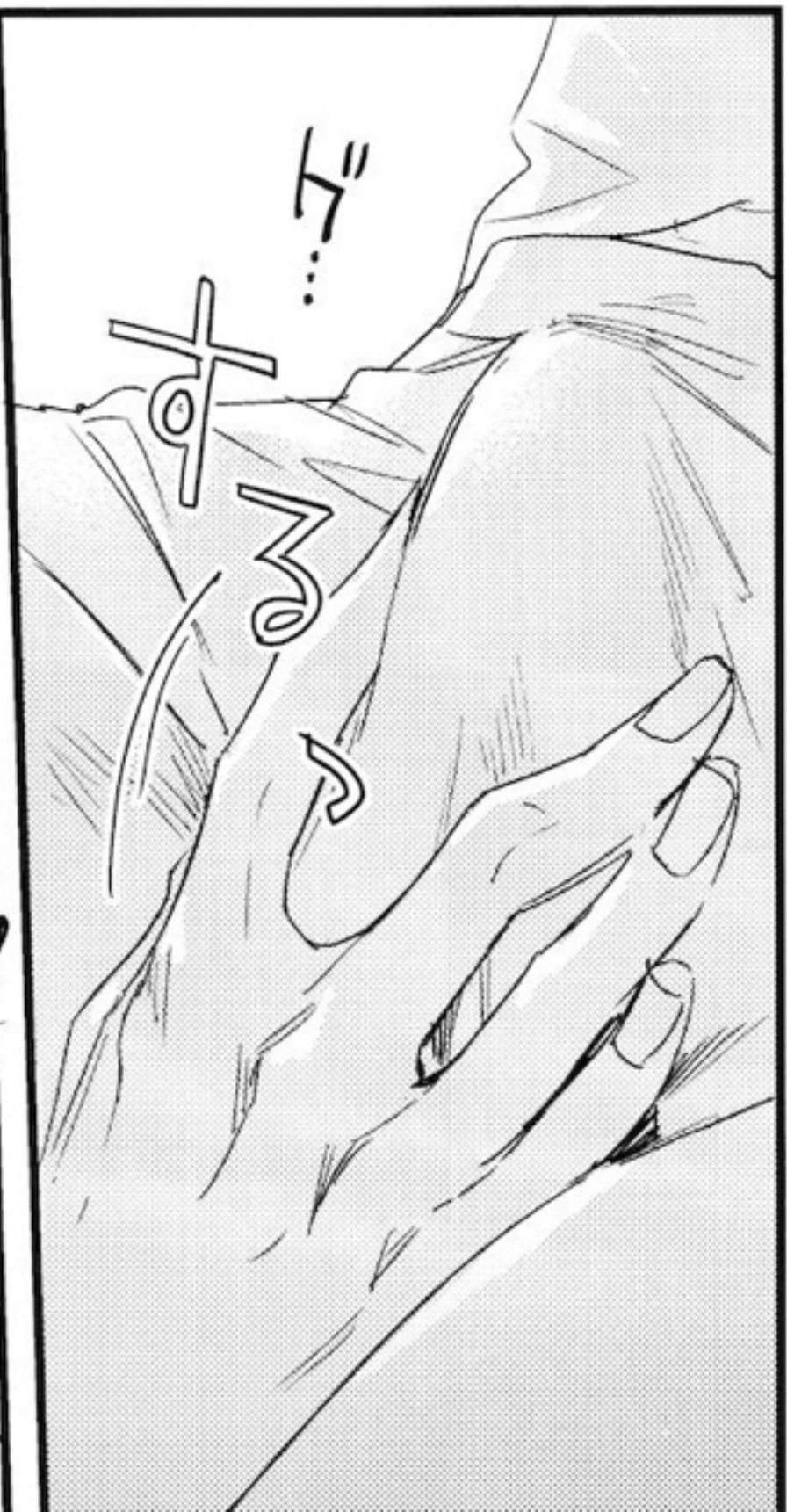
それに
接吻だけでは……
足りん



宿儺の
餌やりは
責任持って
やってね

：唾液だけじゃ
足りなくなつて
来ているのは
分かっていた

でも
だから
と言つて





後ろめたい
気持ちが増すのと
同時に

考えるな

ずっと
気が付きたく
なかつた
感情

自分の中の、
そのまた奥の、
影にしまっていたもの

考えるな

「もつと」

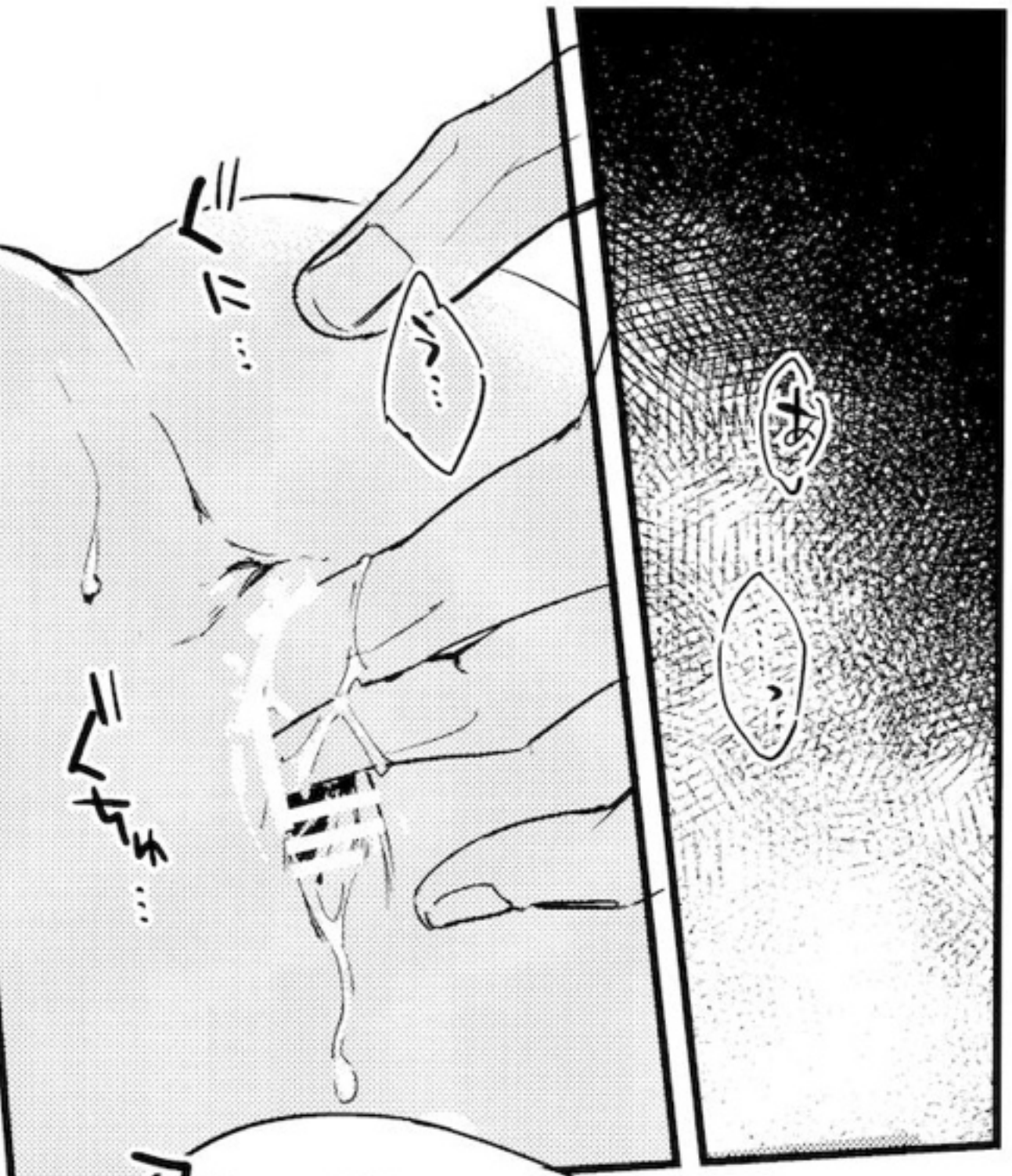
考えるな



あつと身えたららどうなる?



は…



なんで
やり慣れてんのかよ
コイツは...

黙ってろ

喋っていると
舌噛むぞ

...この身体
では初モノだ
光栄に
思えよ



ツハ？

なにこして…



今はもう
この身体は
虎杖のものじゃない

わかってる、
のに



…辛くねえか



...小僧のことなど

今は考えるな

は...?!
考えてなんか...

離せよ、

奴が二度と
オマエに
近づけんように

俺もろとも
消しておけば
よかったな



あ...

オイ、
何故抜いっ...

う、

ズッ
ズッ



伏、
黒

あ、

何をして...

嫌、だ

やめろ、

早く...

お前の...

チリッ
チリッ

ズッ
ズッ



…嫌なのか
良いのか
どっちだよ

だけどコイツが
嫌がってる姿
なんか

初めて
見た……



あ
あッ



はっ

早く
中に……

またっ……
いくから、

はっ

いきたきや
勝手に、
イけっ……

はっ
はっ

ああ、
いー

いく

指でした時より
中、
うねって……

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ



はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

……
搾り取られる

ばか、
締めんなっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ





自分でも
どうするべきか

何が正しいのか

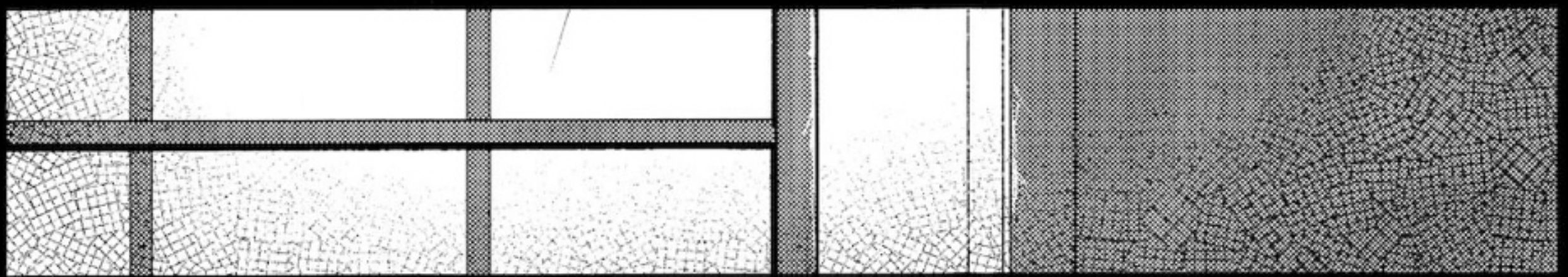
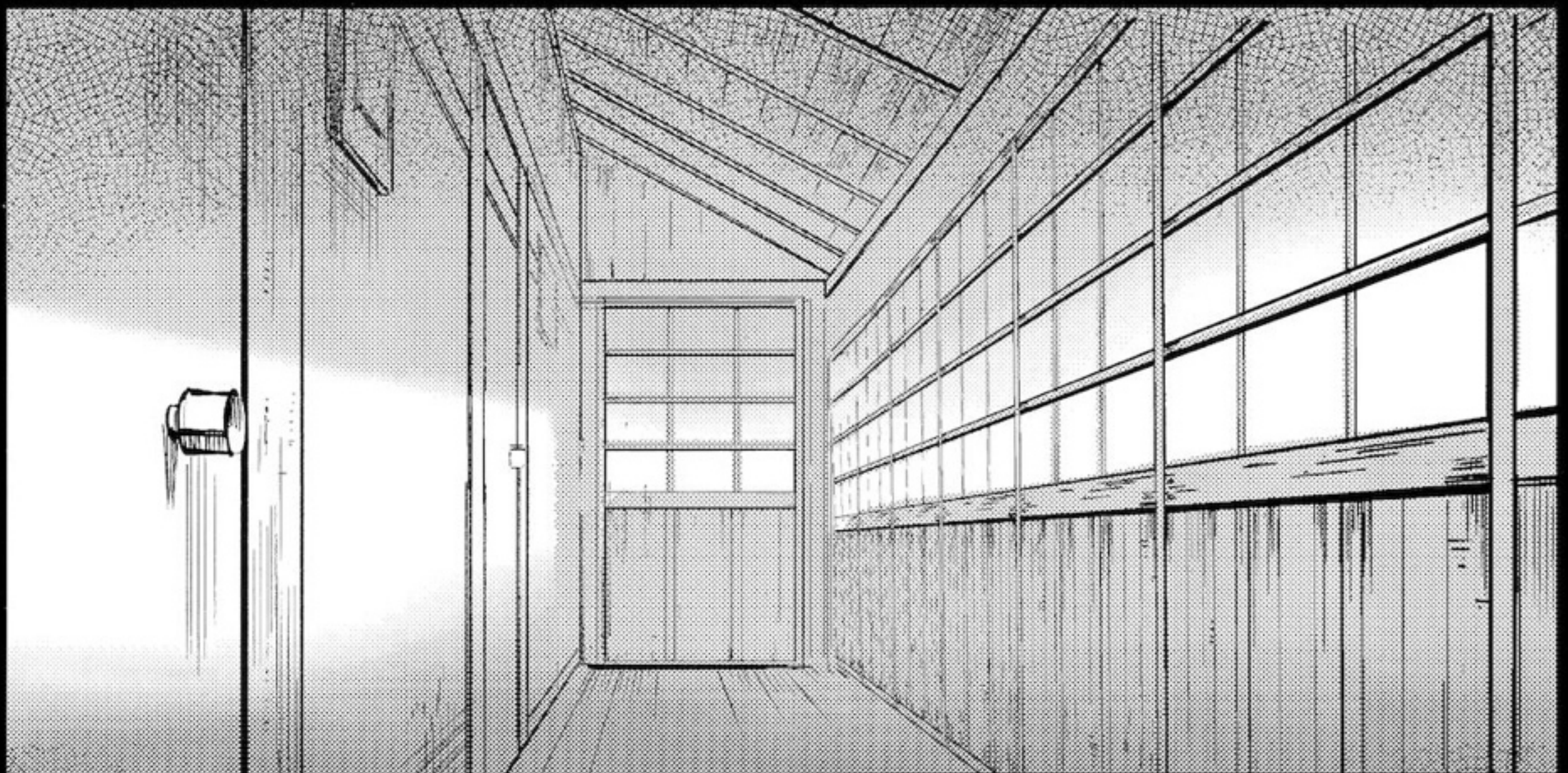
段々
曖昧になって
きていた

何が善で
何が悪なのか

自分が
何のために
呪いを
祓っているのか



コイツの
呪いのせい
にして





伏黒っ！

すぐ来て、



虎杖が……！





最終的に
生かすも殺すも



釘崎、
虎杖のこと
見ておいてくれ

言われなくても…
ってどこ行くのよ



こんなことが
できるやつは…

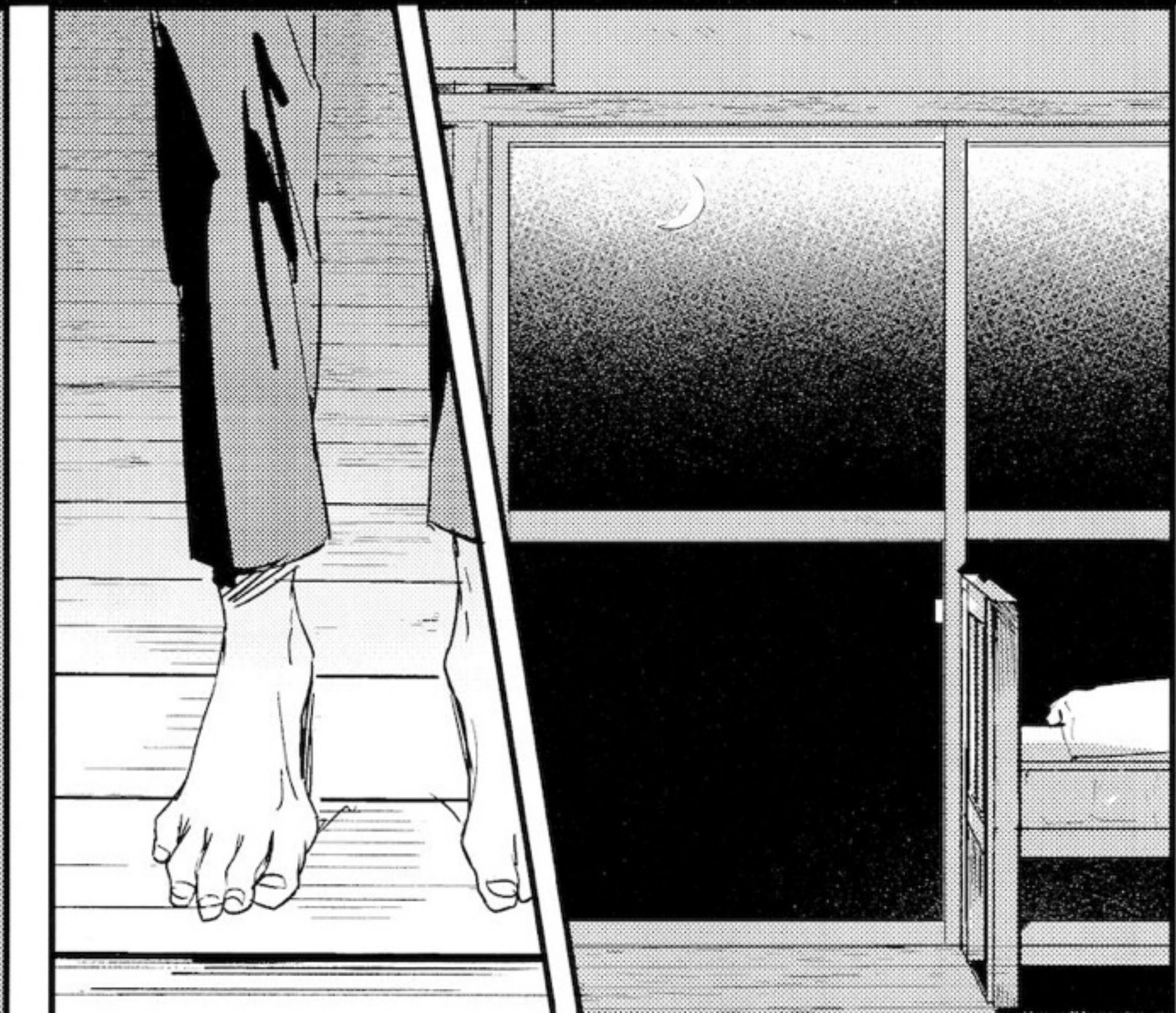


恵の
好きにして
いいよ



…おい

居るんだろ





宿儺：
お前は



ようやく
お呼びか

今日は随分と
遅いのだな…

腹が減って
動けんぞ



…何の話だ

そんなことより
早く呪力を
寄越せ



今も…
呪いの王の
ままなのか



お前を
ほんの少しでも

信じようと
していた
俺は…

お前に利用
されていた
だけなのか



…何を
言っているのか
わからんぞ

小僧の
ことか？

あれは
滑稽…





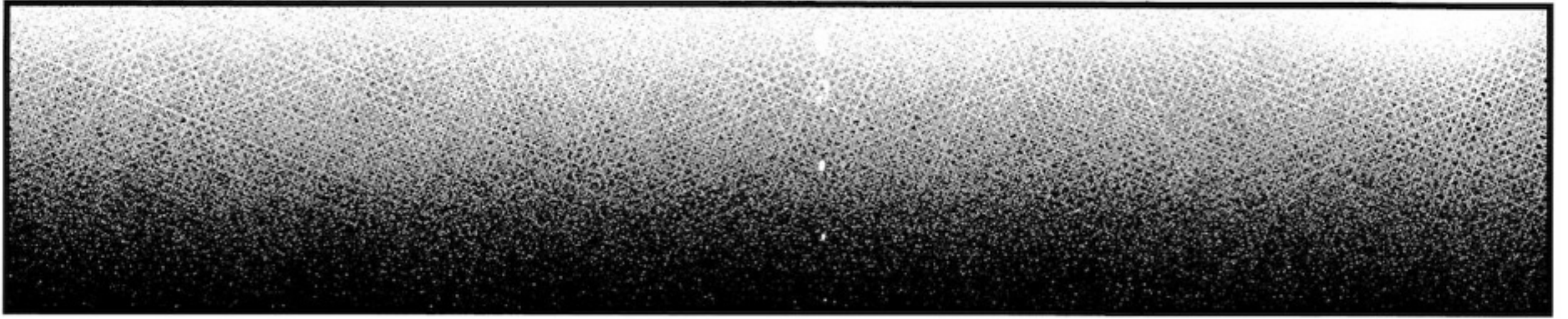
影の中で
じっとしてれば…
しばらく
消えはしない



だからもう

出て
くるな









今日は
新月です

いつも以上に
暗闇には注意して
行動してください



じゃあ
アタシは
あっち見てくるから

ああ…
分かった



…アンタって
ほんっっっつと
とにわかりやすい
わね

あ？

今更
アンタと
アンタの周りのこと…
どうこう言わないけど



今日うっかり
死んだら…
全部なくなっちゃう
んだから

必死で
守ってきた
ものも

守りたい
ものも



…わかっている

ていうか
お前こそ
気をつけろって
………



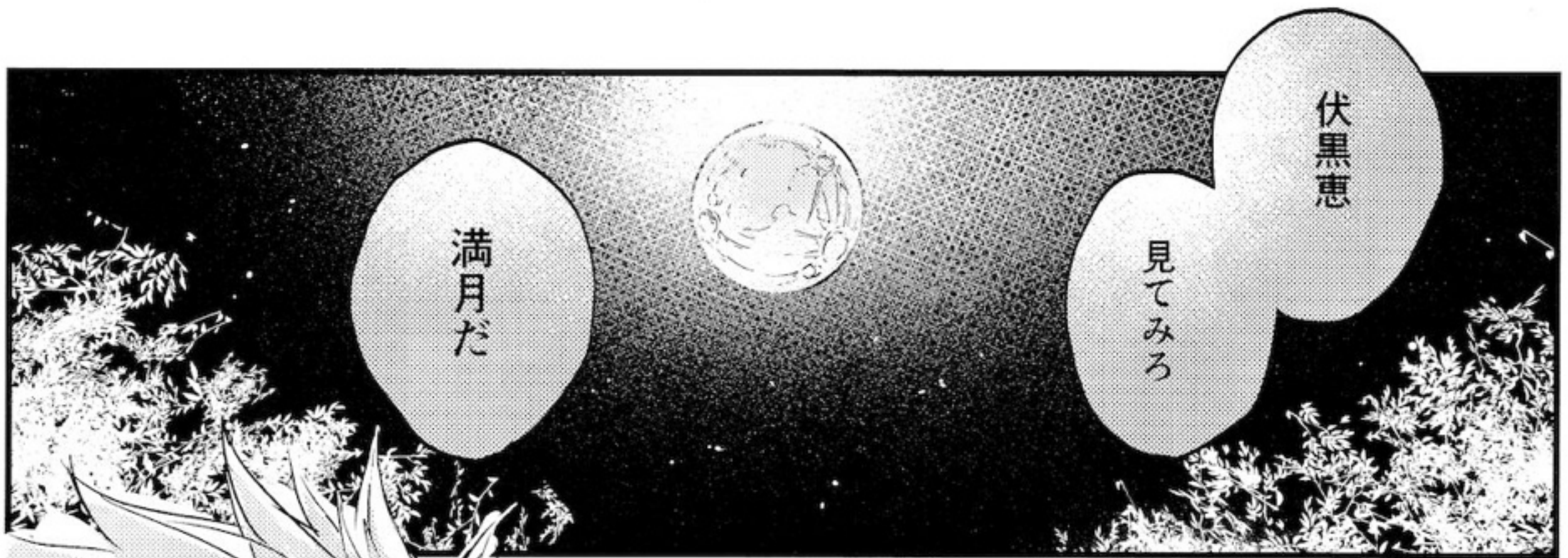
うっかりなんか
死んでやらねえよ

玉犬！

虎杖の
傷跡！

コイツの
牙！

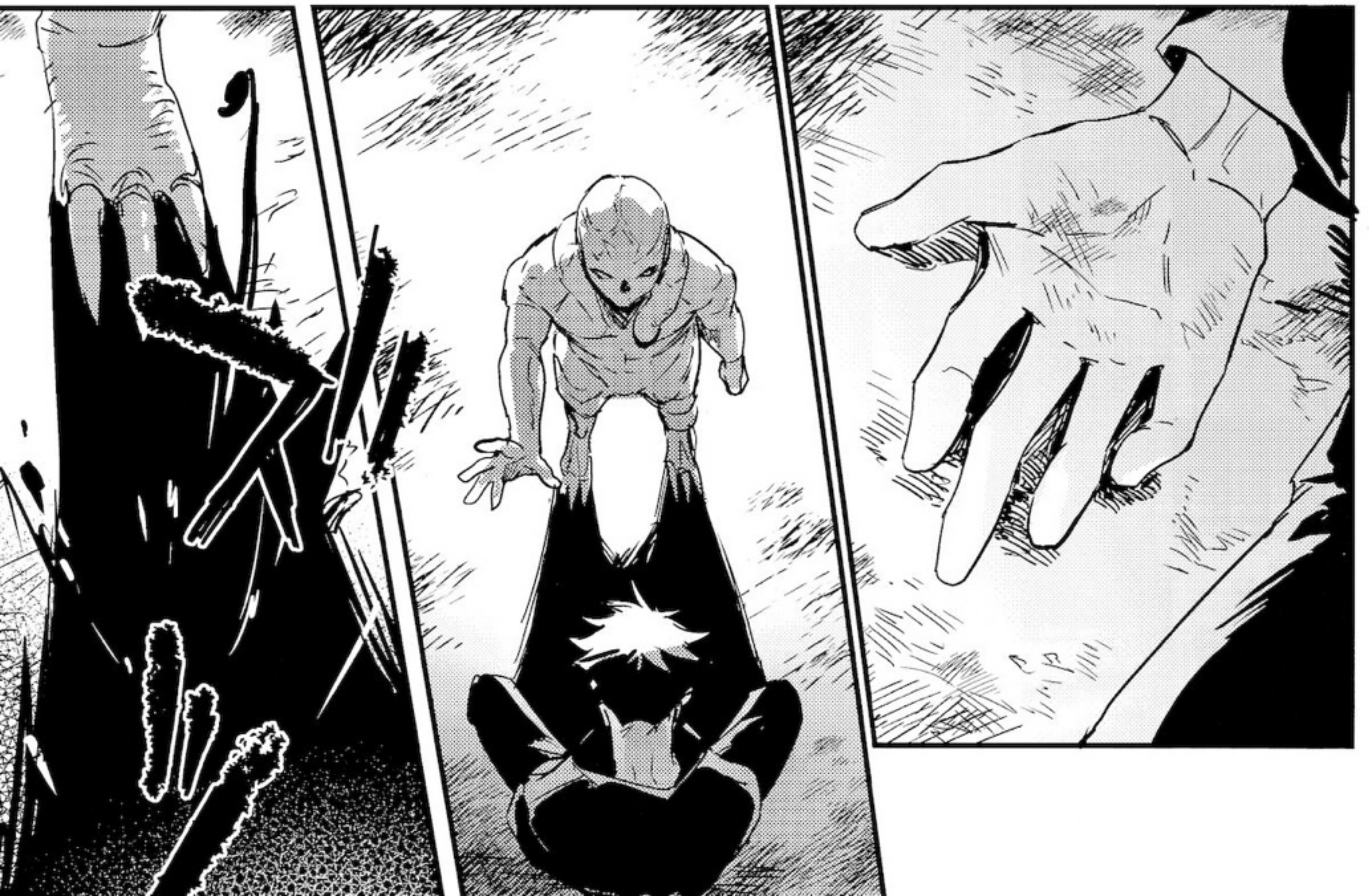




アイツじゃ、
なかった



良かった……

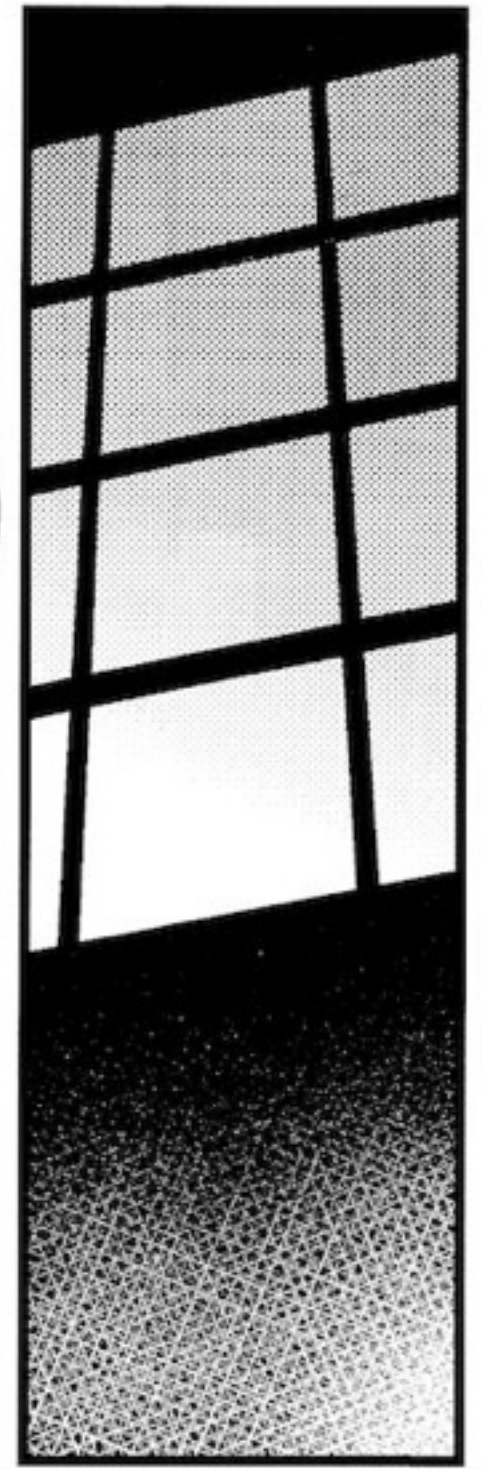




全部
なくなっちゃうん
だから

守ってきた
ものも

守りたい
ものも



俺が
守りたかったのは





目が覚めたか
伏黒恵



あ？



思ったより
早く回復
したようだな

見た目ほど
傷は深く
ないか

ああ、
教師どもが
一週間は
安静にしてると
言っていたぞ

アイツらの
言うことなど
更々信用
できんが

聞いてるか？
伏黒恵

身体うまく
動かねえ…

くそ……

…お前

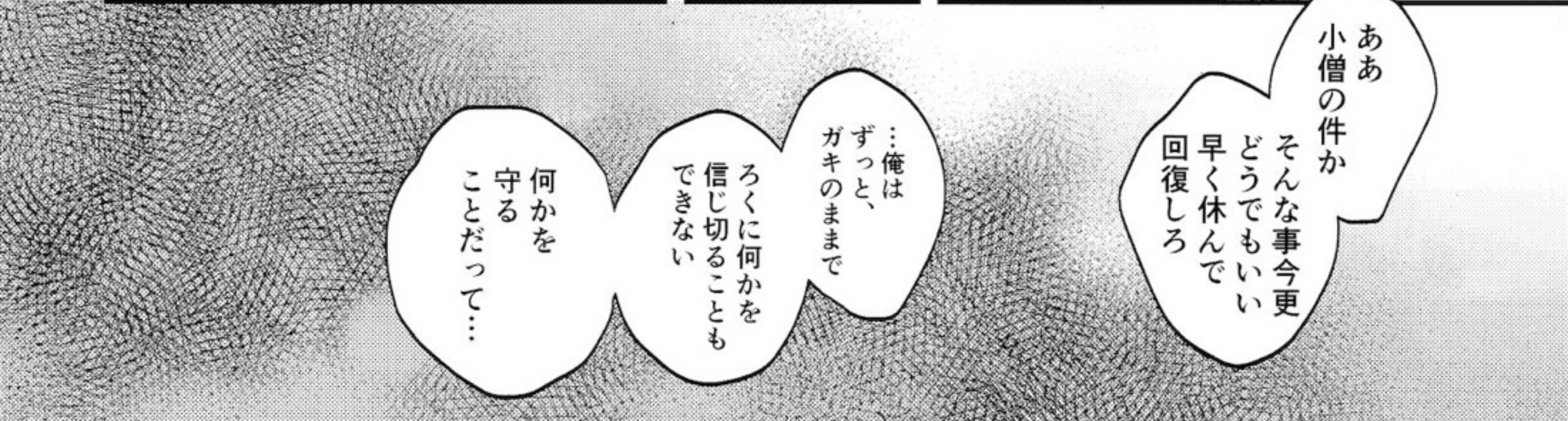
あの時なんで…



……
お前じゃ、
なかったんだな



高専の
外で実体化なんて
オマエも
消えるかも
しれなかったんだぞ
俺を誰だと
思っている？
そんなに
ヤワでは
ないわ



ああ
小僧の件か
そんな事今更
どうでもいい
早く休んで
回復しろ

……俺は
ずっと、
ガキのまま
ろくに何かを
信じ切ることも
できない

何かを
守る
ことだって……



お前が
俺の影の中に
……

そばに
居たことが



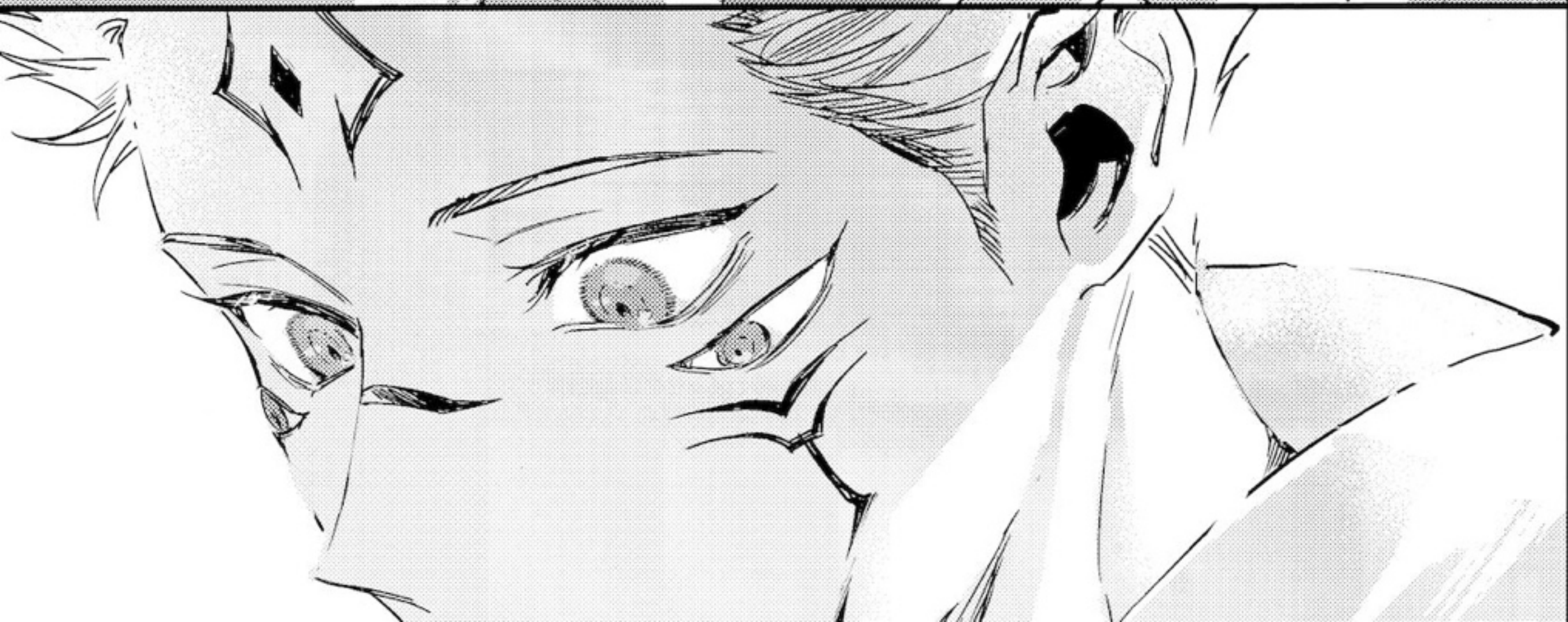
俺は
お前のことが
憎かったのに

殺したいと
思っていたのに



お前を
利用してたのは、
俺の方だ

……もう眠れ



…伏黒恵

俺は俺の意思で
ここにいと決めた

たとえ
永遠に
この敷地から
出られなくてもな

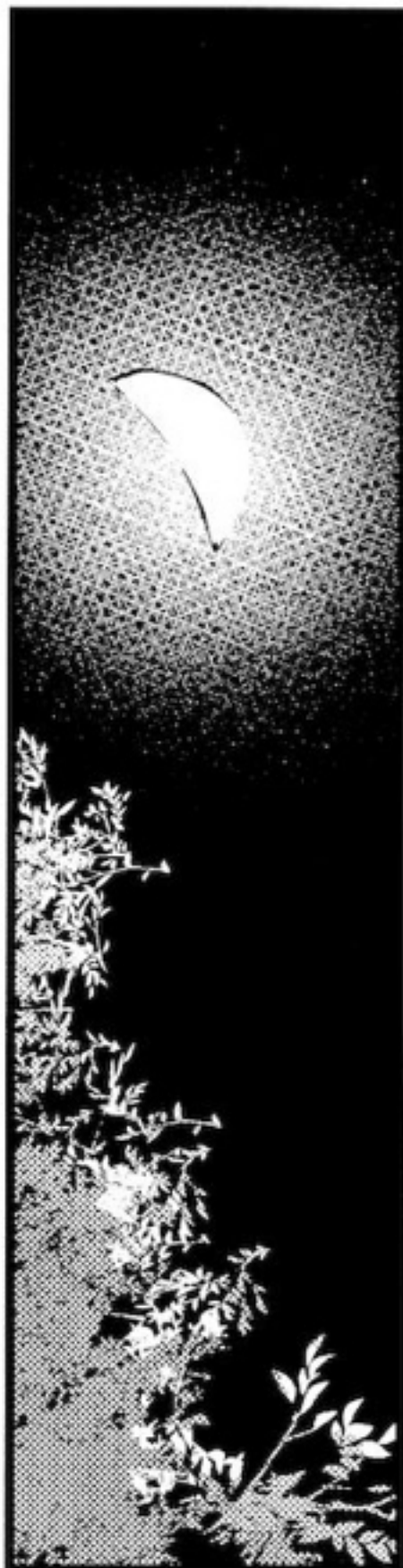


…ふんふん



…今は

ゆっくり
眠れ

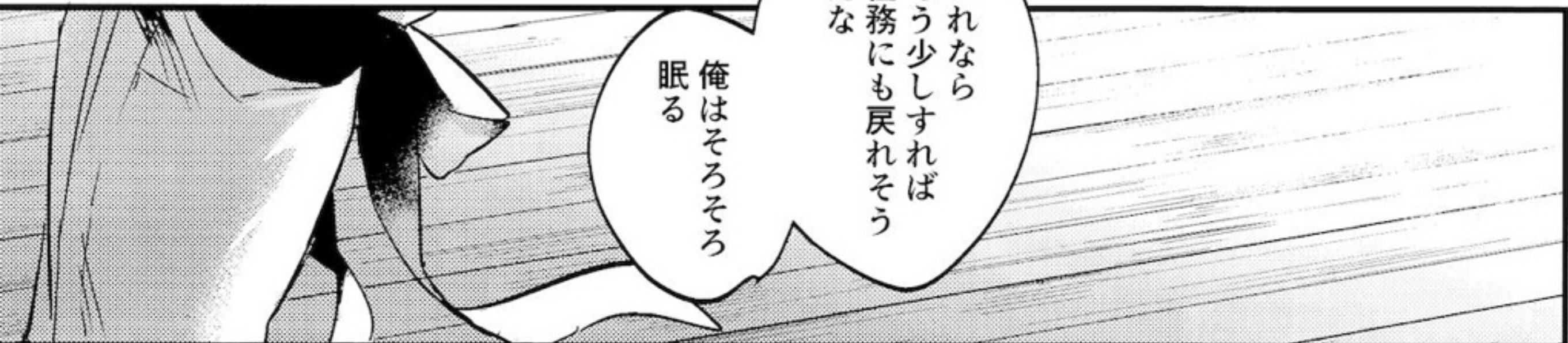


四日で
ここまで
回復するとは

さすがは
禅院の血か

そんな所
褒められても
嬉しくねえ…
血は関係ねえ
(多分)

ようやく
一通り
動ける…



これなら
もう少しすれば
任務にも戻れそう
だな
俺はそろそろ
眠る



俺は数日
衰弱していた上に

あの時
跳ね返った
呪力はまだ、

ちよっと待て
宿儺、
お前、身体は
なんとも…



そういえば
コイツの呪力は……？



呪力が
必要なら
言えよ！

お前のくせに
気なんか使うな

いつもは
あんなに
しつこいくせに

くそ...



何を...
焦っている

...俺のことを
殺したかった
はずだろう...？



ん...



ッ
ッ
ッ



ああ...
俺が殺してやるから
今死なれちゃ
困るんだよ

大人しく
抱かれてる

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

う...
あ...
...



：いちいち
慣らさずとも
良いと
言ってるだろ

まだ
きつい

力抜け

：しばらく
してなかった
からな...

にしてもきつい...
コイツも
力が無くなつて
戸惑ってるのか



：観念
しろって



…も、

もう平気だ、
挿れろっ

とつとつと
奥に出せ…

…辛かったら
言えよ



…
いつの間に
勃たせた？

は、ど、ぐり

成長…

さあな…

俺も
知ってた…



ただ呪力を
与えるだけの
行為

だった
はずなのに



傷つけたくない
なんて

いつからか
思うようになって



コイツが
何を
考えているのか

どこを
どうされるのが
好きなのか

何もかもを
わかりたく
なってる



調子が
狂うな...

いつもの様に
激しくしては
くれないのか?

...お前なあ
そういうの
やめろ

大事に
してやってんのが
わかんねえのか...っ

ハ



オマエの
魔羅で
ナカを掻き回して
抉って…
何度も何度も
貫いてくれ

あーっ
ハハ
ハハ
あんなあ!
俺と一緒に
いるんなら
もっと
情緒を学べ!

情緒など
食っても
美味くないわ



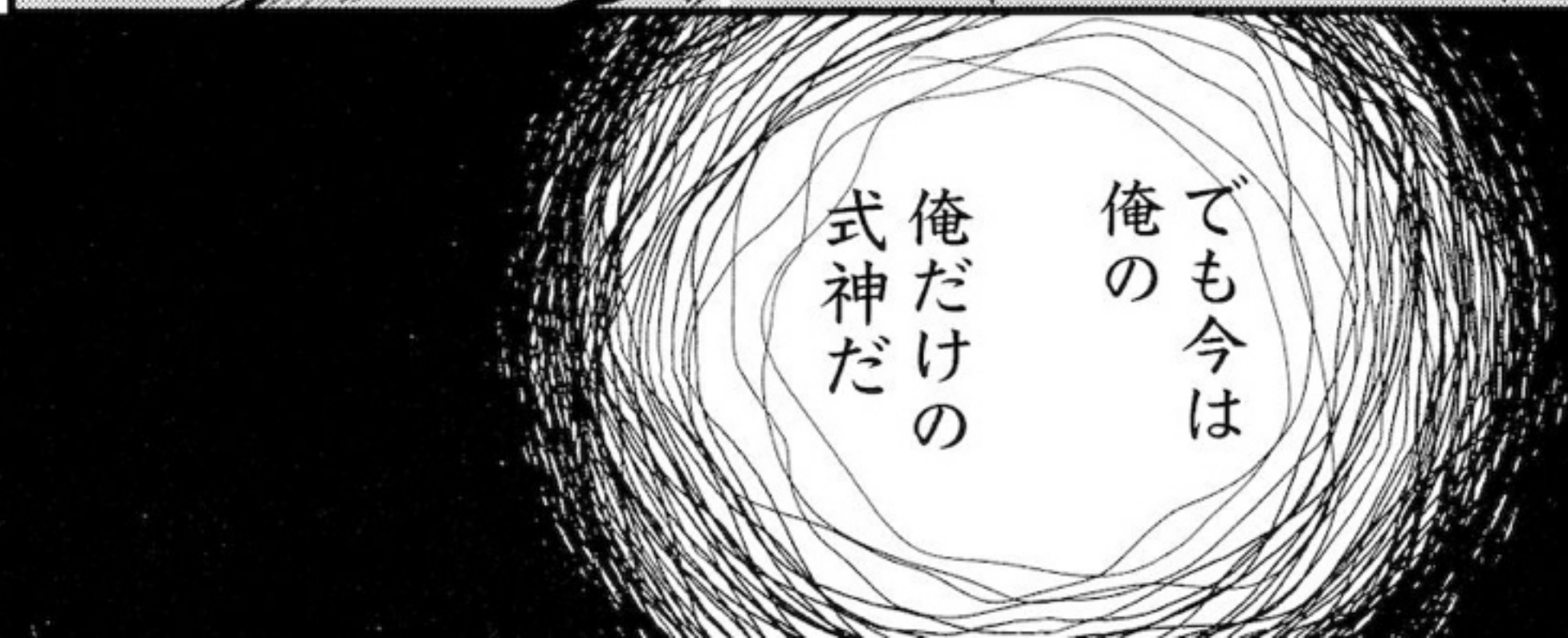
お前な…
俺のこと
舐めてるだろ

脱
ネ



ふ
だったら
どうする?

千年も前の
呪いの王



でも今は
俺の
俺だけの
式神だ



…伏黒、恵



は…
…奥まで

お前ので、
溢れて…

心地良い、



おん

と…



俺はきつと
永遠に

オマエに
囚われるの
だろうなあ…

どうせ
消えるのならば

今、ここで、
お前の手で、



まだだ

まだまだ
解放なんか、
してやるかよ

ゴッゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



宿儻、

宿儻…っ

きょとんとして

あ、

ふし、

きょとんとして

ひょう

っ…

いつか

俺が
殺して
やるから

お前が
望むなら

その先で
また

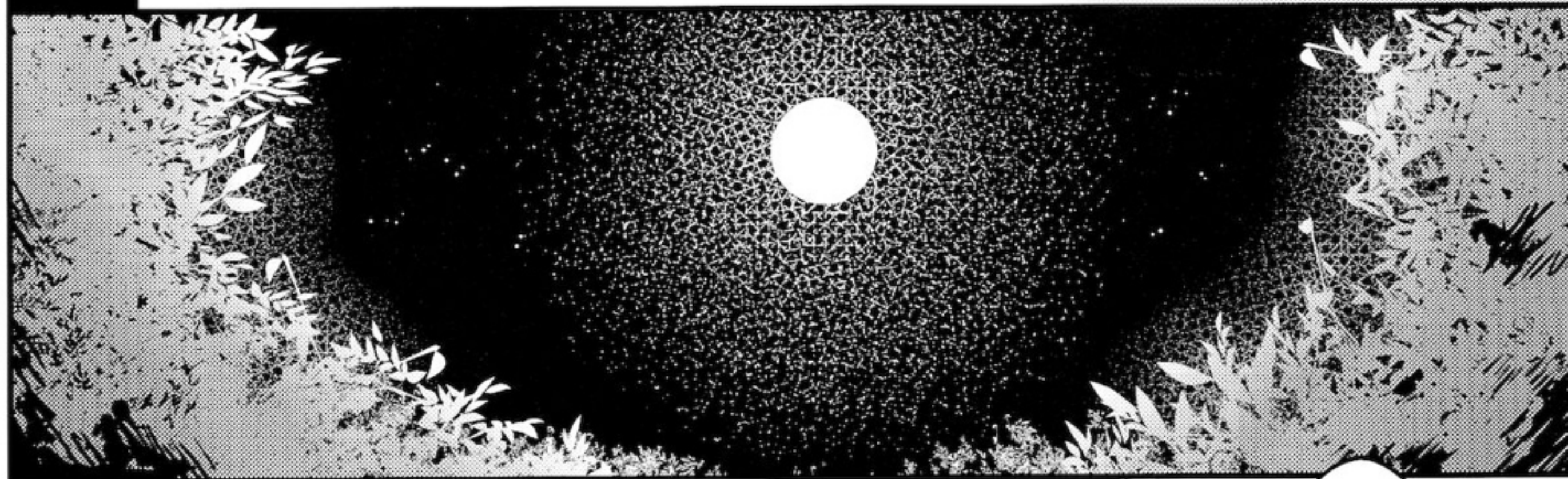




なんだ
まだ夜中か

…あれ、

アイミ……



おい

何してんだ
勝手に
外出るな

…敷地内ならば
自由だろう



誰かに
見られたら
困るぞ
戻るぞ

俺の責任に
なんだよ

「お前の
お母さん...」



悪いな

あと
少しだけだ



...なあ

お前は俺の影に
縛られて

自由に外にも
出られなくて...

それでも
生きていたいのか

心配せずとも
人間と同じように
俺は少しづつ
弱っている

じき自然に
消えるだろう

お前が
俺の生にまで
責任を
取らなくてもな

小僧に
施しを受けた
飯の命など
どうなっても
よかった

が、
しかしだ

今はその
ほんの少しの

人間のような
時間を

お前と月を見て
過ごしたいと
思う

お前と
見る月が

今は
何よりも
美しく見える



コイツの命が
いつまで
続くのかは
コイツにしか
わからないことだ

そして
その時が来るまで
口にはしないだろう

それならば





この月が
朽ちるまでは

やっぱり伏宿には月が似合うなあとしみじみ…

最初に出した本(暗香疎影)と似たような内容になっちゃいましたが、
続き的な感じで読んでいただければ…

この本なかで命を全うして、その後現パロ本(さよなら、略)につながるイメージです。
読んでない方は申し訳ありません、
設定がちょっとふぁてっぽくなってしまった

先生やらのばらちゃんは生きてて目も無事だった世界
あとフシくんの部屋のカーテンがないのは買い替え時だったからです

ふんどしとキジョウイをちゃんと描けなかったことが本当に心残りですが
描かれていない間の時間にはきっと存在しているので
脳内で補って頂ければ幸いです

ふしすくサイコー————！！！！！！

転載、転売、(フリマサイト、オークション等)
ネットへのアップロード等厳禁
DON'T REPOST AND REPRINT MY ARTWORK

もし感想など
頂けたら
嬉しいですね!

感想箱



[潭月、朽ちる迄]

2021.11.07
CANARY bi

表紙装丁デザイン:nzworks様
印刷:日光企画様

Until the moon dies.

潭月

朽

ち

る

迄

T A N G E T S U K U C H I R I M

「あつといっつか俺が殺してやるから」

